

西武鉄道 8000系(サステナ車両) 国分寺線運転席展望

4K60P撮影作品*

東村山駅～国分寺駅(往復)



ワイド展望映像



■ 西武鉄道商品化許諾済



ANRS-72431B/本編約66分 5,500円(税込)



ANRS-72430 /本編約66分 4,950円(税込)

■撮影日 /2025年9月1日(月) ■車両 8000系サステナブル 6両

■区間 /玉川上水(5:40発)⇒東村山(5:48着)曇

東村山(5:56発)⇒国分寺(6:08着-12発)⇒東村山(6:27着)曇

東村山(9:37発)⇒国分寺(9:49着-53発)⇒東村山(10:02着)晴

◆特典映像

(約93分) 東村山～国分寺の後方展望

8000系運用前の走行試験、*試運転展望映像

*試運転時の諸事情により、リアルタイムの展望映像で収録されておりません。

走行音や操作音の収録はなくBGMが流れ、タイムラプス的なイメージの早送り映像です。

■ 本編の概要 ■

元小田急電鉄8000系をベースにしたサステナ車両を使用し、東村山～国分寺で異なる時間帯の往復展望を収録しています。早朝の玉川上水車両基地から出区して、東村山へ回送される。高架工事が真っ只中の東村山を発車し、単線区間を走って行くが、線路際まで住宅やマンションが建ち並び都会的な景色だ。拝島線と接続する小川は国分寺線の駅として開業したため、拝島線が合流、分岐するような線形になっている。恋ヶ窪からは複線区間となるが、羽根沢信号場までの1km弱で終わると、左に大きくカーブし、右側から現れるJR中央本線と並走しながら国分寺に到着する。運転士の喚呼音、運転室の操作音を収録しています。

◆ 主な見どころのキャプチャ画像 ◆

送り込み回送：玉川上水(5:40発) ⇒ 東村山(5:48着)

※本編は4Kカメラと高画質60フレームプログレッシブで撮影された映像をマスターデータとして使用、ブルーレイ方式(またはDVD方式)に変換して記録しています。



少し薄暗い早朝の玉川上水車両基地から出区。



一旦、玉川上水駅近くまで引き上げられられる。



向きを変えて、本線(拝島線)を進んで行く。



東村山に到着。営業列車に向け準備が始まる。

本編：東村山(9:37発) ⇒ 国分寺(9:49着-53発) ⇒ 東村山(10:02着)



高架工事が真っ只中の東村山を発車。線路やホームは仮設になっている。



単線区間だが、沿線は住宅街や高層マンションも目立ち都会的だ。(東村山～小川)



多摩湖線が頭上をクロスするが、この地点には両線の接続駅はない。(東村山～小川)



小川を発車すると、玉川上水方面への拝島線が右にカーブして離れて行く。



恋ヶ窪で下り列車と交換する。8000系が増備されると、2000系の今後が気になるところだ。



恋ヶ窪～羽根沢信号場は国分寺線で唯一の複線区間である。



終点の国分寺に到着。今は行き止まりになっているが、かつて国鉄と線路が繋がっていた。



折り返し東村山へ向う。しばし、JR中央本線の電車と並走する。



複線区間内で上下列車がすれ違うよう、効率的なダイヤが組まれている。



所々で田畠が広がる長閑な風景も見られる。(恋ヶ窪～鷹の台)



小川は国分寺線の駅として開業したため、拝島線が分岐するような形状になっている。



東村山の手前では、高架化工事が進んでおり、過渡期の様子をうかがえる。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらい感じる区間もありますが、あらかじめご了承下さい。

■ キャプチャ画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。